

包括外部監査人の皆様へお願い

前略

皆様におかれましては包括外部監査人として多大な職責を果たされ厚く御礼申し上げます。

私共は、全国市民オンブズマン連絡会議の包括外部監査評価班です。

これまで皆様の監査報告に対し、皆様の作成の事情もお伺いせず報告書のみにて一方的ともいえる評価をしていた者であり、皆様の中には大変「心外」で「御納得を得ない」評価、コメントをしていることもあるかと存じます。「通信簿（イエローブック）」は、私達としては包括外部監査、特に包括外部監査制度の充実と行政での有効活用を目指す目的のものでありますので、私共の評価、コメントの誤解、不備、至らなさにつきましては御容赦のほどお願い申し上げます。

さて、この制度が近く10年目を迎えますが、監査報告書自身は皆様の努力のため、かなり充実し、これをもとに行政当局が有効に活用できるものになっていると考えます。

そして、既に私共のイエローブックでも指摘させていただいたことですが、皆様の監査報告を活かした行政側の措置（改善）により注目すべきと考え、本年度は追加調査し検討したいと考えています。

皆様の監査結果の指摘や意見には、行政当局首長が監査委員にその措置結果を通知し、監査委員より公表される制度となっておりますが、その公表の状況は自治体により求められている掲示板での公報、公報掲載のみならず、ホームページ、一般広報紙など多様であります。

そして、監査人に対しては措置内容について①何の連絡もない、②通知の個別案内はある、③意見も聴かれるというような対応の異なりもあるようです。

私共としては、いわゆる「言い放し」「聴き放し」はこの制度として正しい運用ではなく、せめて監査人の方も納得できる程度の措置がとられ、そのことが議会や市民にわかるようになっていることが必要と考えています。行政の措置について、この事後の確認や点検をすることは、監査人の方に一種の事後サービスをお願いすることになりますが、多大な御苦勞を払われた監査結果について成果の実現を確認することでもあり、今回アンケートに御回答をお願いしたいのです。

既に、2005年度版の報告書作成にあたり、2006年7月に監査人経験者の皆様には直接アンケートさせていただき、ご協力頂きました。今回は監査結果への措置を中心としてアンケートを作成しましたので御回答下さいますようよろしくお願い申し上げます。ご回答は、同封の返信用封筒にて2008年6月中に郵送頂きますと幸いです。メール（hojo@ombudsman.jp）にてご回答いただいても結構です。

草々

平成20年5月

全国市民オンブズマン連絡会議
包括外部監査評価班
代表 井上善雄

監査人へのアンケート調査

(匿名可) 御名前： _____ 担当年： _____ 自治体： _____

以下、該当のものに○を付け、御回答下さい。

1. 監査結果意見への措置について公表の都度個別案内通知を受けていますか。
a. はい b. いいえ
2. 措置やその公表について事前案内や相談はありましたか。 a. はい b. いいえ
3. 事後に公報、HP等で調べて知っていますか。 a. はい b. いいえ
4. 監査結果への自治体の措置内容について
 - ①対応時期は？ a. ほぼ満足 b. どちらでもない c. 満足していない
 - ②措置内容は？ a. ほぼ満足 b. どちらでもない c. 満足していない
5. 監査人としての仕事について、行政に採用されたことでの満足・達成感はありましたか。
a. はい b. いいえ

それはどんなことですか。

(_____)

6. 監査人報酬について十分ですか。 a. はい b. いいえ
7. 監査人としての作業上の困難さにはどんなものがありましたか。(複数可)
 - a. 対象部局課の非協力 b. 資料不足、不明、保存不足
 - c. 条例等不備、行政判断基準の不明、あいまいさ d. 時間的制限
 - e. 経済的困難(報酬との関係) f. 監査側スタッフの不足
 - g. その他 (_____)

8. 御意見(行政の対応や私共の通信簿への批判、評価も含めて)

(_____)

紙幅不足の場合はご追加下さい。御協力いただきまして有難うございました。